

CASBEE® 新築[簡易版]

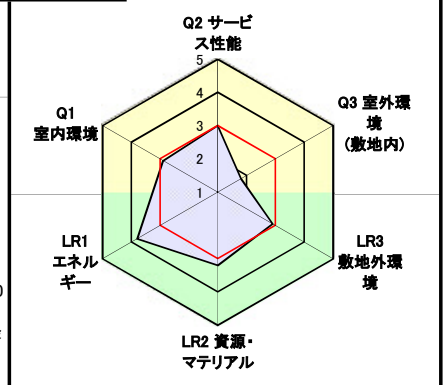
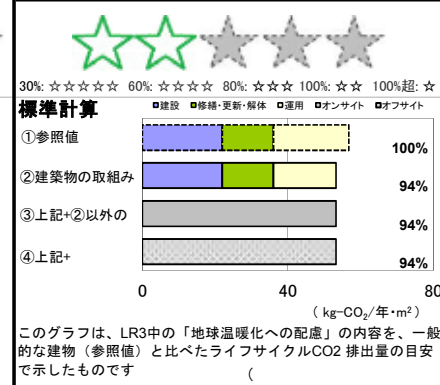
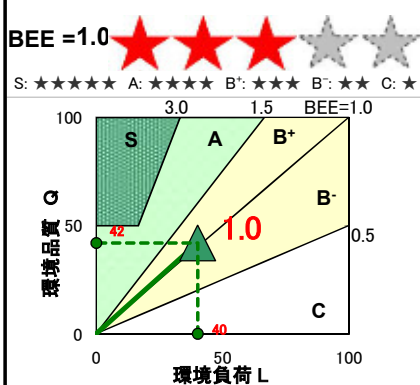
評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.8)

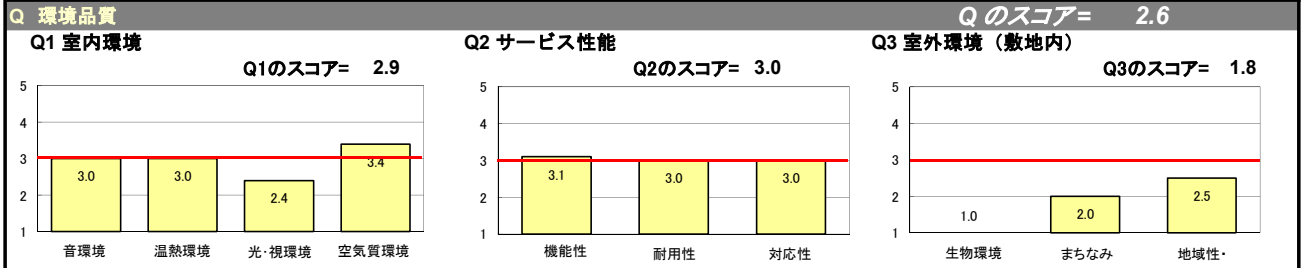
1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ウイエル相生	階数	地上8F
建設地	福岡県北九州市八幡西区相生町5-5	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	108 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015 1.30 予定	評価の実施日	2013年10月20日
敷地面積	1,136 m ²	作成者	ブラックスチューディオ山下
建築面積	462 m ²	確認日	
延床面積	2,730 m ²	確認者	



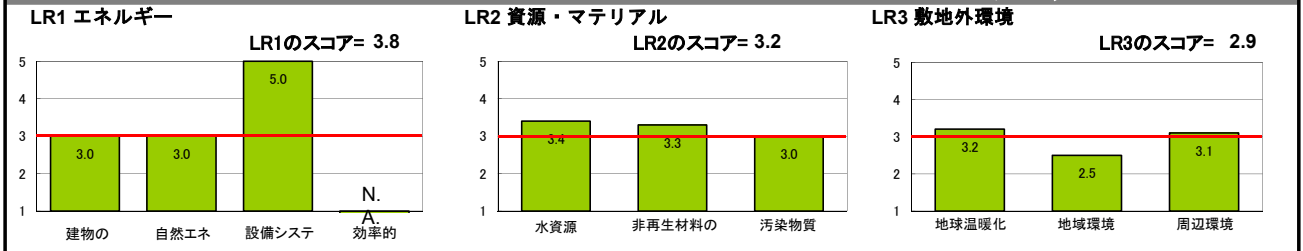
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート) 2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート) 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



LR 環境負荷低減性



3 設計上の配慮事項

総合	その他	
全27戸の集合住宅において、周辺の街並みに配慮した環境形成と、子育て世代の居住に対応した防犯・住戸計画を行った。		
Q1 室内環境 ・内装の仕上材にF☆☆☆☆の建材をほぼ全面的に使用	Q2 サービス性能 ・階高を2960mm以上とした。 ・住居の天井高を2.5m確保した。	Q3 室外環境(敷地内)
LR1 エネルギー ・高効率給湯器(エコジョーズ)の採用	LR2 資源・マテリアル ・節水型便器の採用 ・非構造部材の一部にリサイクル材を活用。 ・仕上げ材にF☆☆☆☆の建材を使用。	LR3 敷地外環境 ・街並みに調和するような色彩計画、照明計画を行った。 ・適切な駐車台数を確保し、周辺の交通負荷を緩和。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される